

適用規格				
定 格	使用温度範囲	-55℃～ +105℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ +60℃ (注3)
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ～ 70% (注3)
	適合コネクタ	DF51A-18DP-2DSA/DS(##) DF51-18DEP-2C(##)	電 流	AWG 22～24 : 2.0A AWG 26 : 1.5A AWG 28 : 1.0A AWG 30 : 0.5A
	適合端子	DF11-22SC(A)/SCF(A) DF11-2428SC(A)/SCF(A) DF11-30SC(A)/SCF(A)		電 圧
	電 圧	AC/DC 250V	規格	電 流

性 能

	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機 械 的 性 能	繰り返し動作 (Snメッキ)	30 回の抜き差しを行う。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。⚠	○	—
	繰り返し動作 (Auメッキ)	50 回の抜き差しを行う。		○	—
	結合力及び離脱力 (Snメッキ)	適合コネクタで測定する。	結合力 80.2N以下 離脱力 4.7N以上	○	—
	結合力及び離脱力 (Auメッキ)	適合コネクタで測定する。	結合力 53.9N以下 離脱力 4.5N以上	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。⚠	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		○	—
	コンタクトの引抜き力	ハウジングを固定し電線を引張った際の強度を測定する。	11.8N以上	○	—
	環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)	①絶縁抵抗 : 500 MΩ以上 ⚠ ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○
温度サイクル		温度 -55 → 105℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)	①絶縁抵抗 : 1000 MΩ以上 ⚠ ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐熱性		温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する。		○	—
耐寒性		温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する。		○	—

備考

- (注1) 通電時の温度上昇を含む。
- (注2) 結露のないこと。
- (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
4	DIS-H-00004500	TS. MIYAKI	SZ. ONO	20181212

試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (適応規格JIS C 5402) を適用している。	承認	HS. OKAWA	20160707
	検 図	YN. TAKASHITA	20160707
	担 当	TT. OHSAKO	20160707
	製 図	TT. OHSAKO	20160707

注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目 図番 SLC-362061-00-00

HRS	製 品 規 格 表	製 品 名	DF51-18DS-2C
	ヒロセ電機株式会社	製 品 コ ー ド	CL543-5037-7-00